

下肢静脈瘤について

- ▶ 下肢静脈瘤とは、足の静脈に血がたまり血管が膨らむ病気です。
- ▶ わが国では成人の10～50%見られます。
- ▶ 良性の病気で、治療せず放置すると皮膚の色素沈着や潰瘍ができることがあります。

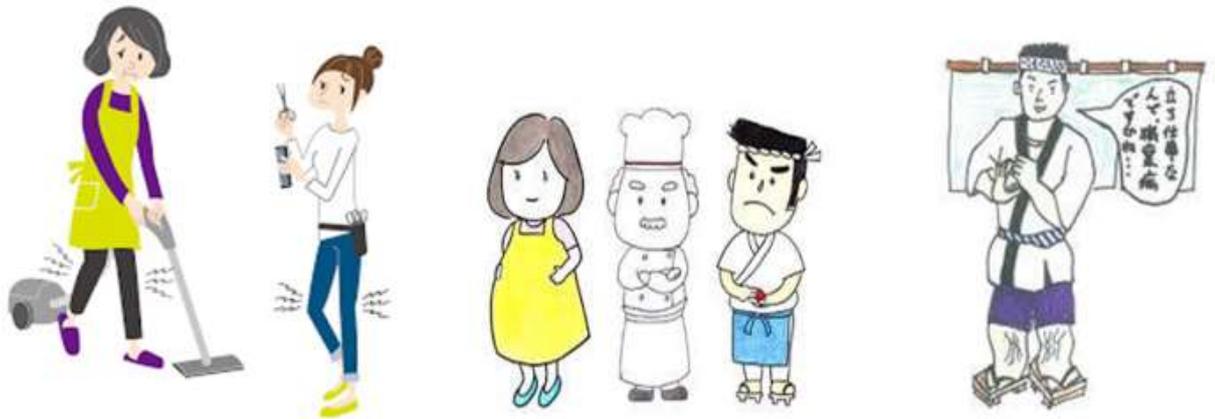
こんな症状ありませんか？

- ▶ 脚がだるい、疲れやすい。
- ▶ 静脈が浮き出ている。瘤ができています。
- ▶ 痒い、湿疹が治りにくい。
- ▶ ふくらはぎがよくつる（こむら返り）。
- ▶ 静脈に沿って痛み、硬いものを触れる（血栓性静脈炎）

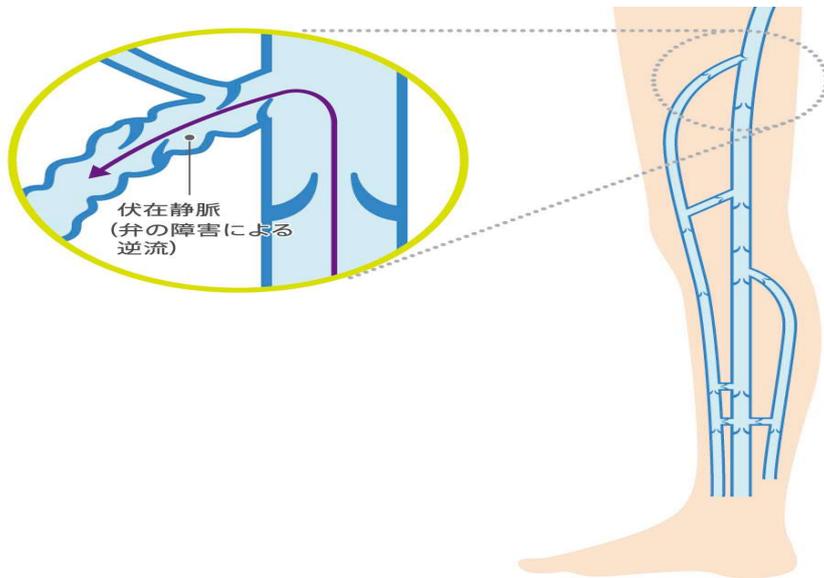
こんな人に多い疾患です。

- ▶ 30歳以上（30歳以上の62%）
- ▶ 女性（57%が女性）
- ▶ 出産経験の多い人・妊娠中の人
- ▶ 立ち仕事（調理師、理容師、教師、店員）
- ▶ 血縁女性（母、姉妹）に静脈瘤の人がいる

立ち仕事 妊娠



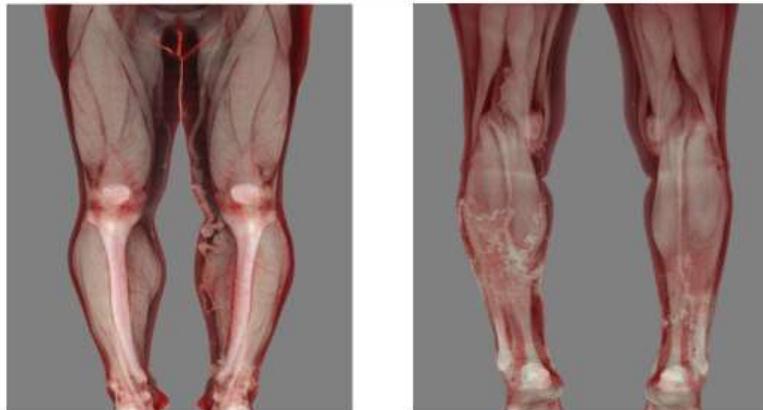
静脈瘤の成因（弁の障害）



CT 検査

下記の如く、どのような静脈瘤であるかを CT にて検査いたします。
 図右が小伏在系、左が大伏在系です。

下肢静脈CT検査



静脈瘤の治療

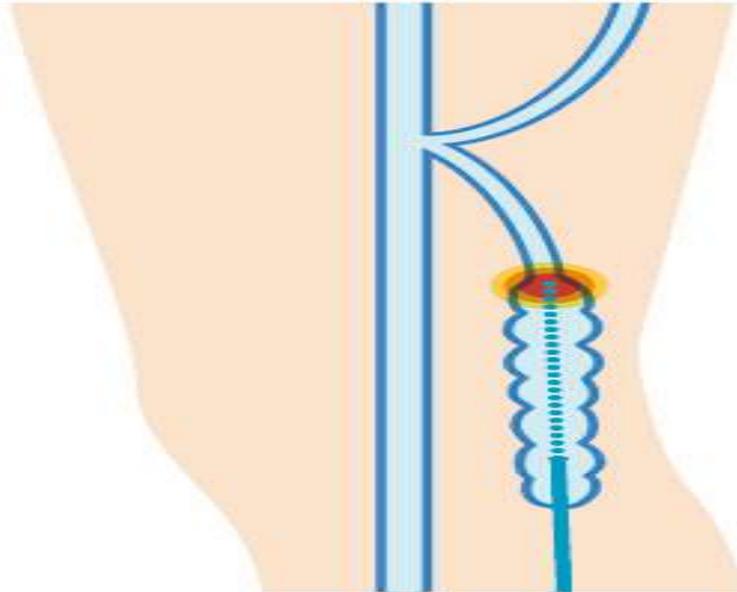
- ▶ 弾性ストッキング



- ▶ 硬化療法
- ▶ ストリッピング
- ▶ レーザー焼灼術

レーザー治療は、ストリッピング手術のように静脈を引き抜いてしまうかわりに、レーザーの熱源で静脈を焼いてふさいでしまう治療です。細い管（カテーテル）を静脈瘤の中に入れて、内側から熱を加えて焼いてしまいます。

焼いた静脈は、治療後半年ぐらいで吸収されてなくなってしまいます。



レーザー本体
ELVeS レーザー1470



静脈瘤レーザー治療の実際
治療は手術室で行い、焼灼時は専用の保護メガネを着用します。

レーザー治療



当院でも 2016 年春より下肢静脈瘤レーザー治療を開始いたしました。
レーザー治療は全ての静脈瘤に対しての治療法ではありません。
ご不明な点があれば、ご連絡ください。 外科 松本秀年